

都産技研表彰 - INNOVATION PARTNERSHIP AWARD -

INNOVATION PARTNERSHIP AWARDとは

設立経緯

都産技研設立100周年を機に、都産技研を利用し都内産業を牽引してきた優れた中小企業を表彰し、東京都におけるイノベーション創出の発展に導くことを目的として設立

対象

都産技研の技術支援・研究開発を通じて、社会的貢献度の高い事業、製品、技術開発に意欲的に取り組み、都内産業を牽引している中小企業



株式会社名取製作所

所在地 埼玉県上尾市愛宕3-15-14（本社）
（その他所在地 久喜工場、東京オフィス）

TEL 048-774-1153

URL <https://natori-mnf.co.jp/>

表彰理由

人の可能性を拓く技術成果を創出
「障害者スポーツ」と「ものづくりに取り組む人」の能力向上に貢献

①トポロジー最適化を取り入れ、障害者スポーツ義足用アダプター50%以上の軽量化を都産技研と達成。その業界初の試みは、パラスポーツトップアスリートの国際的大会での記録更新の一助に（東京2020大会にも出場）。技能レベルに応じたアダプターや競技練習用ツール等も開発し、障害者スポーツの能力向上に貢献。



②生産現場へのIoT導入を都産技研と開始。可視化された生産プロセス情報をもとに、現場自らが成功体験を見出し改善に向かう自律的な仕組み（情報基盤）を構築。その実践的適用とプロセス改善は現場の人々の能力向上に貢献。高品質を保ちながら生産性が向上、取引先からも高い信頼を獲得。

支援の流れ「①新市場製品創出」と「②現場の自律化による生産プロセス改善」

ラボ 都産技研・製品開発支援ラボ入居 並走型技術支援の機会の提供 (2016年～2024年)

① 製品開発	技術相談 アダプターの破損原因究明を相談	共同研究 (2018～2019) トポロジー最適化で、スポーツ義足用アダプターを軽量化	特定事業共同研究 (2020～2023年) スポーツ義足用アダプターにセンサを組み込み、競技練習用ツールを開発	障害者スポーツの能力向上
	② 生産プロセス	技術相談 生産と品質の両立・安定化が悩み	IoT公募型共同研究 (2018～2019) IoT化で生産プロセスのばらつきを見える化 プロセス稼働の変化に注目!	共同研究 (2020～2022) 生産現場の人々に気づきと行動変革をもたらす自律的な仕組みを構築 高品質安定化と生産性向上を両立
				人財育成

企業紹介



確かなプレス加工とチタン技術でみなさまの思いをカタチに

緻密な設計力と、3次元で曲げやねじれを組み合わせた優れたプレス加工技術を有する1949年創業の会社。自動車部品の製造で培ってきた「多品種少量生産」「リードタイムの短縮」「省力化」を強みに、ものづくりの可能性を追求。

都産技研との出会いで障害者スポーツへの支援を加速

社会貢献ができないかと考えていたところ、自社のチタン加工の技術がスポーツ義肢にマッチすると分かり、十数年前にスポーツ用義肢の開発に着手。都産技研との共同研究がきっかけで、スポーツ義足用アダプターのさらなる軽量化やスポーツ義足の練習用支援ツールの開発に至る。

お客さまとともに課題を解決

加工難易度の高いチタンをはじめさまざまな金属材料を取り扱い、高い加工技術により高品質な製品を提供するとともに、お客さまの具体的なニーズや要望に合わせた提案と課題解決に取り組む。